

静岡県月例経済報告

(令和7年6月号)

……令和7年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 590



TECH BEAT Shizuoka 2025

国内外
スタートアップ他
約170団体
出展予定

START with PASSION.

オープンイノベーションの頂きへ。

7.24 10:00 ~ 17:00 木 25 10:00 ~ 17:00 金 26 10:00 ~ 17:00 土

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和7年4月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、弱い動きとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、持ち直している」

大型小売店販売額（4月）は、百貨店が2か月前ぶり、スーパーが6か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（4月）は、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが2か月連続、ドラッグストアが48か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも40か月連続で前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（4月）は、乗用車が4か月前ぶりに前年実績を下回ったものの、軽自動車が4か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（4月）は、分譲住宅が4か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が7か月前ぶり、貸家が3か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも3か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額（4月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観（3月調査）の令和7年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（4月）は、3か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、弱い動きとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(4月)は、原動機が2か月ぶり、エアコンが11か月連続、二輪自動車類が3か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車、自動車の部分品が8か月連続、科学光学機器が9か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額(4月)は、パルプが2か月ぶり、原動機が3か月ぶり、魚介類及び同調製品が2か月連続で前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品が5か月ぶり、木材、自動車の部分品がいずれも3か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,014億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる」

鉱工業生産指数(4月)は、電気機械が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続で前年水準を上回ったものの、食料品・たばこが2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械が7か月連続、輸送機械が3か月連続、化学が4か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも3か月連続で前年水準を下回った。なお、前月比は2か月ぶりに増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では6か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(4月)は1.10倍となり、前月を0.01ポイント上回った。51か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.16ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(4月)は、25か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(3月)は、前年実績と同水準だった。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(4月)は、前年同月比 1.0%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(4月)は、前年同月比 73.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産(4月)は、件数は14件(前年同月比 36.4%減)と前年実績を下回り、負債総額は1,595百万円(同 32.4%減)と前年実績を下回った。

<トピックス>



静岡県



静岡銀行

TECH BEAT Shizuoka 2025

国内外
スタートアップ他
約170団体
出展予定

START with PASSION.

オープンイノベーションの頂きへ。

7.24 10:00-17:00 木 25 10:00-17:00 金 26 10:00-17:00 土

会場 | グランシップ 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1
(JR東静岡駅南口徒歩3分)

時代を先駆けるスタートアップとの出会いと
共創がSHIZUOKAの未来を加速する。

イベント
概要



全国から熱い視線を浴びるオープンイノベーションの祭典「TECH BEAT Shizuoka」。国内外そして静岡発祥の注目スタートアップたちが今年もグランシップに集結します。「DX」をはじめ事業課題へのブレークスルーを得るビジネスマッチングを中心に、日本を代表する経営者、学識経験者、クリエイターたちによるキーノートやセミナーなど、ここでしか巡り会えないチャンスと刺激が盛りだくさんの3日間です。さらに、スポーツシーンとDX、自治体の協業事例紹介、次代を担う学生たちの研究展示、子どもたちが先端テクノロジーに触れる機会となるデジタルアトラクションなど「TECH BEAT Shizuoka」ならではのコンテンツも。静岡の未来が鼓動するイノベーションの最前列へ、あなたも！

<トピックス>



**BLUE
ECONOMY
EXPO**
@Suruga Bay

ブルーエコノミー国際会議

海の未来会議 @駿河湾

2025 **7.25金-26土**

会場 **グランシップ**

基調講演

カルロス・M・ドゥアルテ氏

アブドラ国王科学技術大学 特別荣誉教授
(2025年Japan Prize(日本国際賞)受賞)

講演・国内外の事例紹介 ほか



海の未来会議
連携開催イベント **TECH
BEAT 2025**

海洋先端技術が 今年も集結!

海洋関連産業の展示&プレゼンテーション

海のEXPO @駿河湾

2025 **7.28月-29火**

会場 **清水港 日の出地区**

- 海のEXPO(展示&プレゼンテーション)
- ローカルエリアネットワーク会議
- ROVデモンストレーションイベント



詳しくは
特設サイトへ▶



入場無料
事前登録制

(主催)一般財団法人マリンオーガニゼーション機構 (共催)静岡県/静岡市/関連産業団体等を予定

アクセス

静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ

- 公共交通機関
 - ・「JR東静岡駅」南口より徒歩5分
 - ・「静岡鉄道長沼駅」下車 → 「JR東静岡駅コンコース」通過、南口出口まで徒歩7分 → 南口より徒歩5分
- お車
 - <東名高速>
 - ・静岡インターより約20分(6キロ)
 - ・日本平久能山スマートインターより約10分(4キロ)
 - <新東名高速道路>
 - ・新静岡インターより約15分(9キロ)

清水マリビル・清水マリターミナル

- 公共交通機関
 - ・「JR清水駅」または「静岡鉄道新清水駅」から
しずてつジャストライン三保山の手線で
「波止場フェルケール博物館」下車 → その後、徒歩5分
- お車
 - ・東名高速清水インターより臨港道路経由で約15分(3キロ)
国道1号線、南幹線から約10分

BLUE ECONOMY EXPO @ Suruga Bay 運営事務局

メールアドレス: info@blue-economy-expo.jp

静岡県内に本社・事業所を有する中小企業※対象

※製造業、一次産業、物流業が対象です

ロボット・AI・IoT 導入でお困りの 企業様へ！

静岡県のアドバイザーが無料サポート



費用無料 (県負担)

静岡県アドバイザー派遣制度とは？

静岡県では、県内企業のデジタル化・自動化を支援するため、ロボット・AI・IoTなどの専門知識を持つアドバイザーを無料で派遣しています。
「人手不足を解消したい」、「業務を効率化したい」そんな悩みと一緒に解決します！

■こんな企業におすすめ■

- ・AI・IoTやロボットの知識がなく、何から始めればいいのかわからない
- ・導入コストや機器の選び方に不安がある
- ・補助金や外部ベンダーとのやりとりになれていない



■支援内容（一例）■

- ▷導入に向けた課題整理・技術的相談
- ▷自社に適した機器やサービスの提案
- ▷提案依頼書（RFP）の作成支援
- ▷ベンダー企業とのマッチング など

申込方法

こちらの2次元コードを読み込み、静岡県のアドバイザー派遣ページにアクセスしてください。掲載されている「ヒアリングシート」をダウンロード・ご記入の上、下記メールアドレス宛に送信いただくことで、お申込みとなります。

※2次元コードは、県公式ホームページ内の
「ロボット・AI・IoT導入診断アドバイザーページ」にアクセスできます。
<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/kigyoshien/kigyoshien/1025718.html>



お問い合わせ



静岡県 経済産業部
TEL:054-221-2609

産業イノベーション推進課（担当：竹田）
メール:sangyo-innovation@pref.shizuoka.lg.jp

<トピックス>



太陽光発電システムをおトクに購入できる 共同購入に参加しませんか？

【参加募集期間】

2025年 5月28日 ▶ 2025年 10月22日まで

施工の枠が埋まり次第締め切らせて頂く場合がございます。



スケールメリットによる
設置費用削減



優良な販売施工事業者からの
最適な提案

共同購入とは

複数の事業者が集まることで生まれる購買力を活かして、太陽光発電システムの導入費用低減ができる仕組みです。販売施工事業者は厳格な審査および入札を経て選定されるため、高い品質を確保しながら価格競争力のある提案を受けられます。

事業概要PDF



国の税額控除制度「カーボンニュートラルに向けた投資促進税制」を活用できる場合があります

昨年度事業実績

市場価格より

最大32%OFF

(129,000円/kW:100~250kW帯)

シミュレーション例

●設置容量:120kW ●年間発電電力量:13,200kWh ●年間電気削減額:約317万円

通常購入の場合

設置費用

2,280万円

共同購入の場合

設置費用

1,548万円

**約4.8年
で回収**

※令和6年度に実施された他県での実績です。資源エネルギー庁が公表する「令和6年度以降の調達価格等に対する意見」に記載のシステム費用平均を市場価格とし、割引率を算出しております。

静岡県内事業者の皆さまへ



県では、公募により選定した事業者とともに、太陽光発電や蓄電池の購入希望者を募り、一括して発注することで、おトクに購入することができる共同購入事業を今年度も実施しております。

太陽光発電設備と蓄電池を組み合わせれば、災害に対する備えになります。この機会にぜひ設置をご検討ください。

静岡県より



静岡県イメージキャラクター
「ふじっぴー」©静岡県

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

4 月 = 37,850百万円

* 前年同月比： 4.9%増

(県内3百貨店、163スーパー合計)

<概 況>

4月の大型小売店販売額は37,850百万円で、前年同月比 4.9%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 0.7%増）が2か月ぶり、スーパー（同 5.6%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 19.4%減）が4か月連続、身の回り品（同 17.5%減）が6か月連続、家庭用品（同 7.4%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 7.5%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は5.1%増と、16か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
販 売 額（百 万 円）	36,839	37,543	38,829	47,865	39,903	36,272	40,511	37,850
前 年 同 月 比（%）	3.1	▲ 0.6	2.9	2.3	2.1	2.1	3.6	4.9
うち 百貨店（%）	8.9	2.6	2.7	2.2	3.3	3.2	▲ 1.0	0.7
スーパー（%）	2.2	▲ 1.2	2.9	2.4	1.9	1.9	4.4	5.6
(参考1) 全国前年同月比（%）	1.8	▲ 0.5	3.5	2.9	2.9	0.6	1.7	1.5
うち 百貨店（%）	2.2	▲ 0.8	3.4	2.8	5.1	▲ 1.7	▲ 2.9	▲ 4.5
スーパー（%）	1.6	▲ 0.3	3.6	3.0	2.1	1.6	3.7	3.9
(参考2) 県前年同月比（店舗数調整前）	3.9	0.2	3.6	3.0	3.2	3.8	4.7	5.1

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
衣 料 品	7.7	▲ 11.0	▲ 0.2	0.2	▲ 4.8	▲ 17.8	▲ 17.1	▲ 19.4
うち 紳士服・洋品	▲ 1.8	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 1.4	▲ 2.7	▲ 19.5	▲ 19.6	▲ 24.6
婦人・子供服・洋品	10.8	▲ 7.4	1.2	▲ 0.1	▲ 5.8	▲ 17.8	▲ 16.7	▲ 17.8
身 の 回 り 品	▲ 16.2	0.2	▲ 1.3	▲ 1.3	▲ 8.5	▲ 5.8	▲ 15.5	▲ 17.5
飲 食 料 品	2.3	0.3	3.0	2.1	3.5	2.6	5.0	7.5
家 庭 用 品	7.3	▲ 3.1	2.8	4.1	▲ 3.1	▲ 6.3	▲ 6.5	▲ 7.4
うち家庭用電気機械器具	13.6	▲ 2.9	4.2	6.9	▲ 2.8	13.4	5.0	4.7

(注) 店舗数調整済、全月速報値

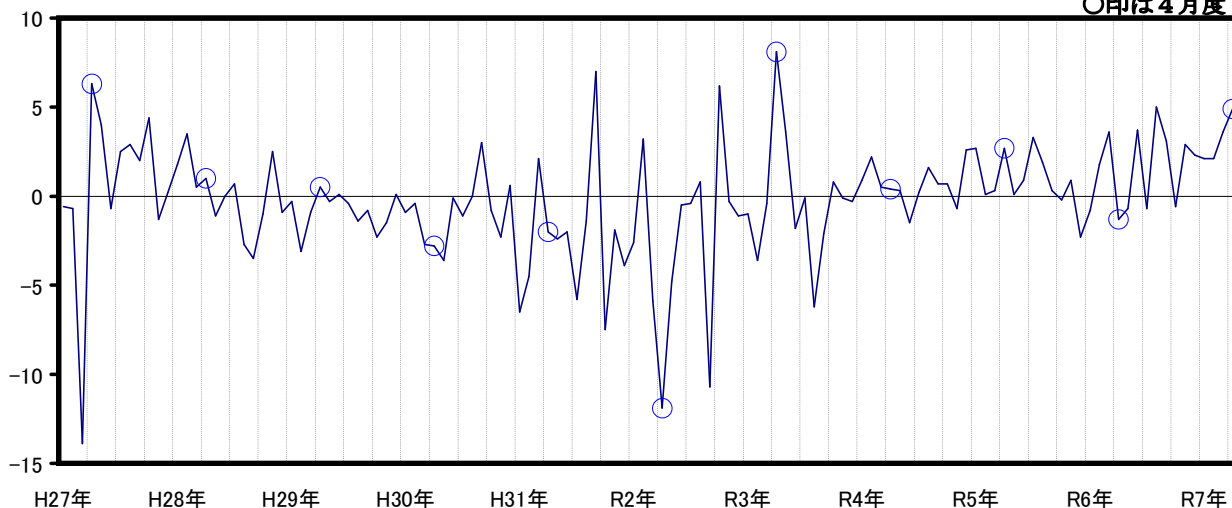
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は4月度



(2) 専門量販店等販売額

4 月 = 77,470百万円

* 前年同月比： 2.3%増

(県内92家電大型専門店、1,670コンビニエンスストア、620ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概 況>

4月の専門量販店等販売額は77,470百万円で、前年同月比 2.3%増となり、40か月連続で前年実績を上回った。
業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 2.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同 1.8%増）が2か月連続、ドラッグストア（同 3.8%増）が48か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
販 売 額 (百 万 円)	77,100	77,382	77,216	89,980	76,831	71,641	83,621	77,470
前 年 同 月 比 (%)	1.3	0.4	3.0	4.5	3.0	1.0	4.0	2.3
うち 家電大型専門店 (%)	5.3	▲ 1.5	5.2	4.1	2.7	5.5	3.2	3.2
コンビニエンスストア (%)	▲ 0.5	1.0	1.8	2.9	2.8	▲ 0.6	3.0	1.8
ドラッグストア (%)	1.5	2.0	4.1	6.4	4.8	1.7	6.4	3.8
ホームセンター (%)	2.8	▲ 6.1	0.9	3.5	▲ 2.9	0.0	▲ 0.5	▲ 2.3
(参考) 全国前年同月比 (%)	1.7	1.4	3.5	3.5	4.5	2.1	5.0	3.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

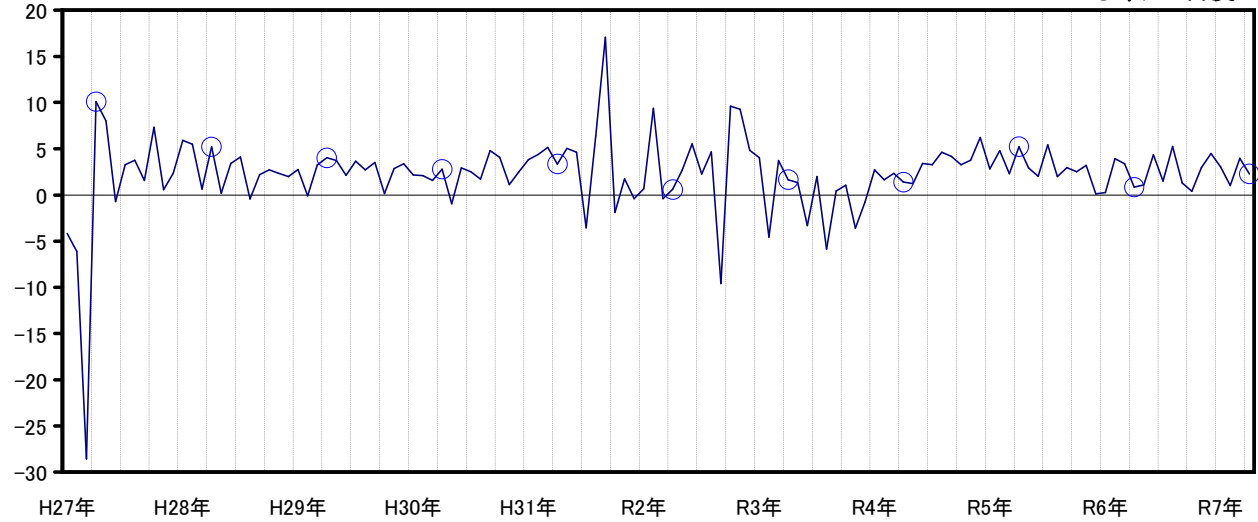
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は4月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数
(乗用車、軽自動車合計)

4月＝11,709台

＊前年同月比： 11.0%増

<概況>

4月の自動車(新車)新規登録台数は、11,709台で、4か月連続で前年実績を上回った。
車種別にみると、乗用車(前年同月比 0.1%減)が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、軽自動車(同 26.6%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 6年9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月
登録台数(台)	14,498	13,935	13,461	11,603	14,274	15,574	17,219	11,709
前年同月比(%)	▲ 1.5	2.7	▲ 4.0	▲ 5.9	15.4	21.9	9.7	11.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	1.0	▲ 3.9	1.7	15.0	18.8	9.6	11.0

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

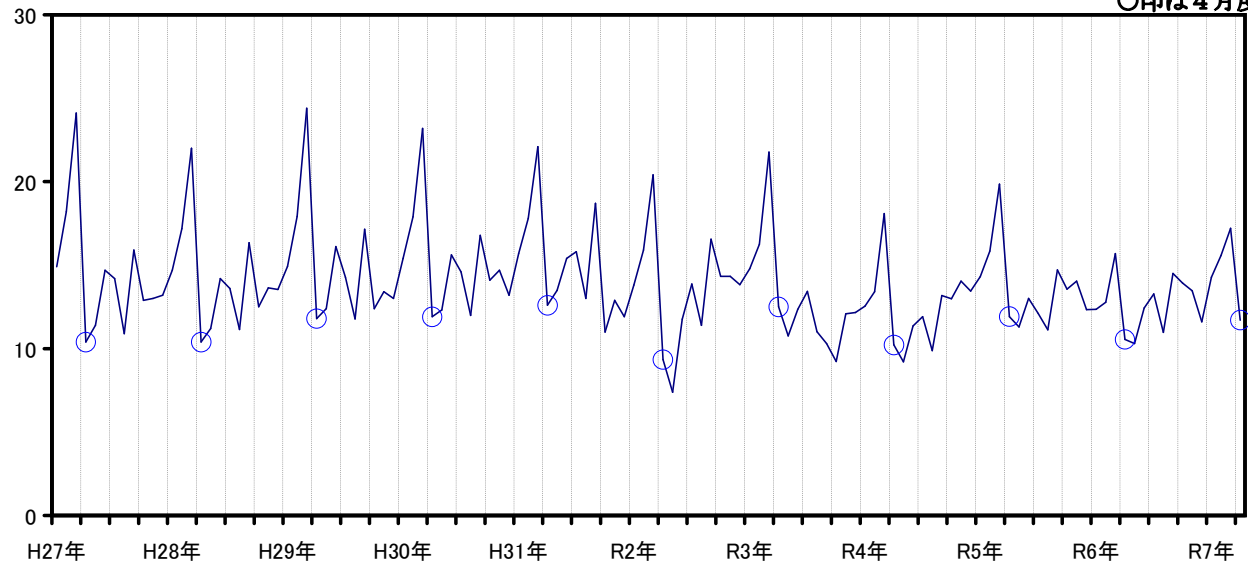
	R 6年9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月
全乗用車	▲ 1.5	2.7	▲ 4.0	▲ 5.9	15.4	21.9	9.7	11.0
乗用車	▲ 1.9	11.9	▲ 0.1	▲ 7.8	17.8	19.9	9.4	▲ 0.1
軽自動車	▲ 1.0	▲ 6.5	▲ 8.4	▲ 3.8	12.7	24.3	10.1	26.6

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は4月度



(注) 全国前年同月比は乗用車＋軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

4 月 = 1,412 戸

* 前年同月比： 19.3%減

<概 況>

4 月の新設住宅着工戸数は1,412戸で、前年同月比 19.3%減と、3 か月連続で前年実績を下回った。
利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 14.4%増）が 4 か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 16.8%減）が 7 か月ぶり、貸家（同 41.5%減）が 3 か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
戸 数 (戸)	1,359	2,046	1,396	1,047	1,995	1,381	1,525	1,412
前 年 同 月 比 (%)	▲ 13.7	44.9	▲ 3.9	▲ 30.8	51.6	▲ 11.0	▲ 4.6	▲ 19.3
うち 持 家 (%)	▲ 4.1	6.7	3.3	1.1	1.9	3.1	17.7	▲ 16.8
貸 家 (%)	▲ 22.4	60.3	▲ 34.6	▲ 67.7	174.3	▲ 37.5	▲ 25.6	▲ 41.5
分譲住宅 (%)	▲ 26.3	20.2	28.7	▲ 37.1	28.3	15.9	11.1	14.4
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 4.6	2.4	39.1	▲ 26.6

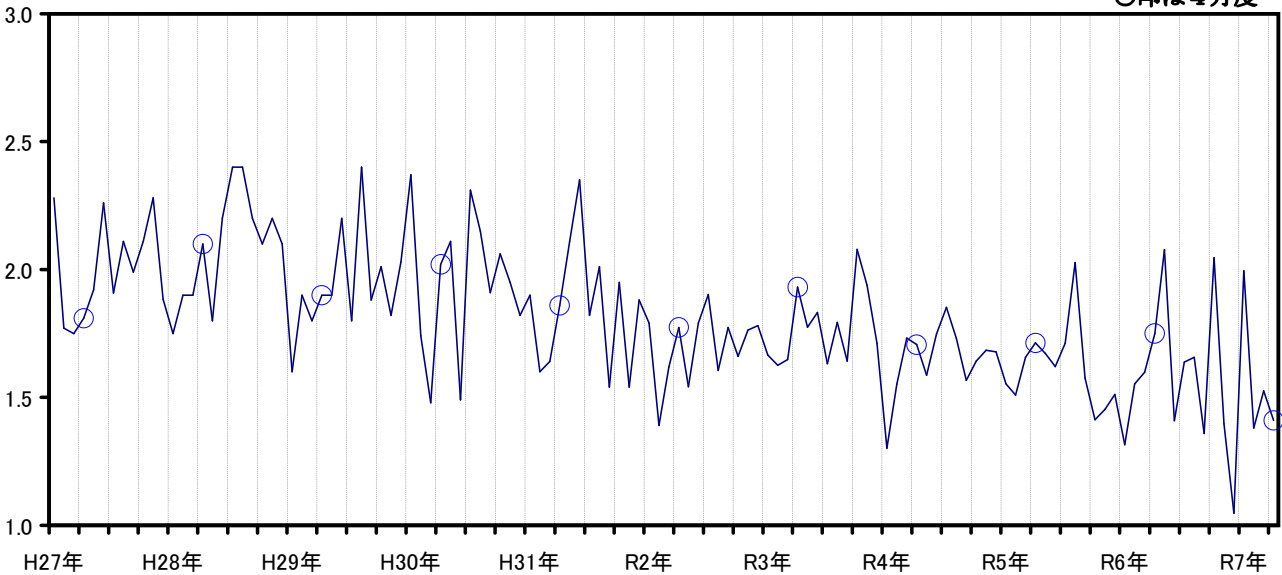
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は4月度



3 公共工事請負金額

4 月 = 65,432百万円

* 前年同月比： 24.7%増

(建設保証会社保証実績)

<概 況>

4 月公共工事の請負金額（工事場所ベース）は65,432百万円で、前月同月比 24.7%増となり、2 か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は445件で、前年同月比19.2%減となり、3 か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
金 額 （ 百 万 円 ）	32,375	21,867	18,118	11,371	15,285	13,099	31,501	65,432
前 年 同 月 比 （ % ）	▲ 4.2	7.3	▲ 1.7	▲ 26.2	▲ 14.9	▲ 7.9	36.2	24.7
年度累計前年同月比（%）	6.9	6.9	6.3	4.5	3.3	2.7	5.1	24.7
件 数 （ 件 ）	907	707	509	412	261	192	540	445
前 年 同 月 比 （ % ）	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 17.4	▲ 9.6	▲ 5.8	0.0	33.3	▲ 19.2
年度累計前年同月比（%）	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 3.0	▲ 3.1	▲ 3.0	▲ 1.0	▲ 19.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
国	▲ 17.4	▲ 45.9	53.5	92.3	▲ 27.7	▲ 6.8	48.7	▲ 32.8
独 立 行 政 法 人 等	▲ 65.1	423.3	282.6	▲ 68.8	36.0	-	▲ 74.2	▲ 32.1
県	▲ 5.6	3.4	▲ 33.2	▲ 28.7	13.2	▲ 33.8	77.1	▲ 2.0
市 町	6.5	15.7	▲ 8.6	▲ 26.1	▲ 38.1	12.3	18.2	23.2
地 方 公 社	-	-	▲ 20.9	-	-	-	-	-
そ の 他	▲ 9.8	53.4	93.6	▲ 57.8	158.2	▲ 14.2	▲ 21.4	364.1

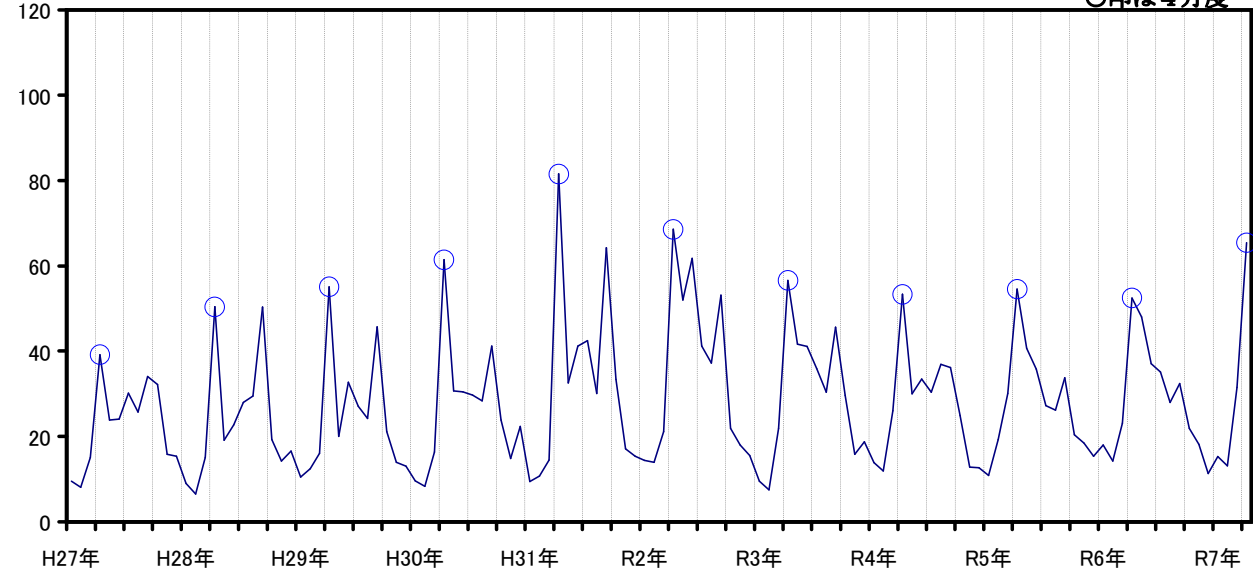
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は4月度



4 設備投資

<概 況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 25.5%増）で増加、非製造業（同 1.9%減）で減少し、全産業（同 13.2%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 9.6%増）で増加、非製造業（同 1.8%減）で減少し、全産業（同 7.0%増）では増加する計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は86,908㎡で、前年同月比 5.9%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度 (計画)	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲3.5) 12.5	13.2
	全国	(▲1.4) 8.1	0.1
製造業	県	(▲8.8) 18.2	25.5
	全国	(▲3.0) 11.6	5.4
非製造業	県	(4.0) 6.1	▲ 1.9
	全国	(▲0.5) 6.2	▲ 2.9

		R6年度 (計画)	R7年度 (計画)
全産業	県	(▲0.4) 13.1	7.0
	全国	(▲1.5) 8.4	2.2
製造業	県	(▲1.6) 15.3	9.6
	全国	(▲2.1) 9.7	4.1
非製造業	県	(3.9) 6.1	▲ 1.8
	全国	(▲0.8) 6.9	0.3

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)」を追加

〈資料〉日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和7年3月調査)

＜最近の動き＞

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
竣工建築物床面積（非居住用）（㎡）	88,251	128,072	62,220	54,072	161,859	69,348	43,226	86,908
前年同月比（％）	67.9	18.0	▲ 75.7	▲ 47.9	88.3	▲ 73.6	▲ 36.6	▲ 5.9
（参考）全国前年同月比（％）	▲ 3.8	▲ 27.3	▲ 0.6	▲ 14.3	▲ 23.9	2.5	7.1	0.9

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

〈資料〉国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D. I.＞

		R 6 年12月	R 7 年 3 月	R 7 年6 月 (予測)
全 産 業		10	6	2
	製 造 業	1	▲ 4	▲ 6
	非 製 造 業	19	16	8
(参考) 全国 ・ 全産業		15	15	10

(注4) 業況判断D.I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

〈資料〉 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年3月調査)」

5 輸出

4 月 = 222,267百万円

* 前年同月比： 1.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

4月の清水税関支署管内の輸出総額は222,267百万円で、前年同月比 1.5%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 8.2%増）が2か月ぶり、エアコン（同 61.8%増）が11か月連続、二輪自動車類（同 9.3%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、自動車（同 18.9%減）が4か月連続、自動車の部分品（同 6.3%減）が8か月連続、科学光学機器（同 24.6%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（同 0.8%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、米国向け（同 2.0%減）が2か月連続、EU向け（同 14.6%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
輸出総額（百万円）	217,157	212,513	205,783	242,029	164,049	219,821	218,345	222,267
前年同月比（%）	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 13.6	2.7	▲ 12.8	▲ 2.9	▲ 3.3	▲ 1.5
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 1.7	3.1	3.8	2.8	7.2	11.4	3.9	2.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
原 動 機	▲ 17.5	▲ 14.0	▲ 30.8	▲ 21.1	1.1	14.9	▲ 15.6	8.2
エ ア コ ン	35.0	34.7	42.5	185.3	192.4	152.2	212.4	61.8
自 動 車	▲ 8.6	▲ 27.8	▲ 37.2	52.3	▲ 54.2	▲ 33.0	▲ 50.5	▲ 18.9
自 動 車 の 部 分 品	▲ 13.1	▲ 28.4	▲ 28.8	▲ 10.2	▲ 6.5	▲ 11.8	▲ 10.8	▲ 6.3
二 輪 自 動 車 類	1.7	▲ 23.6	▲ 27.3	6.6	▲ 44.5	2.3	19.2	9.3
科 学 光 学 機 器	▲ 30.9	▲ 46.7	▲ 25.0	▲ 28.2	▲ 14.8	▲ 22.9	▲ 30.2	▲ 24.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年8月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
ア ジ ア	3.6	▲ 5.8	▲ 1.5	▲ 2.2	6.0	5.0	▲ 1.7	0.8
米 国	▲ 8.2	▲ 17.2	▲ 7.5	▲ 11.8	▲ 11.0	0.8	▲ 5.9	▲ 2.0
E U	▲ 24.3	▲ 45.0	▲ 47.5	18.6	▲ 41.1	▲ 17.4	▲ 4.5	▲ 14.6

<資料>清水税関支署

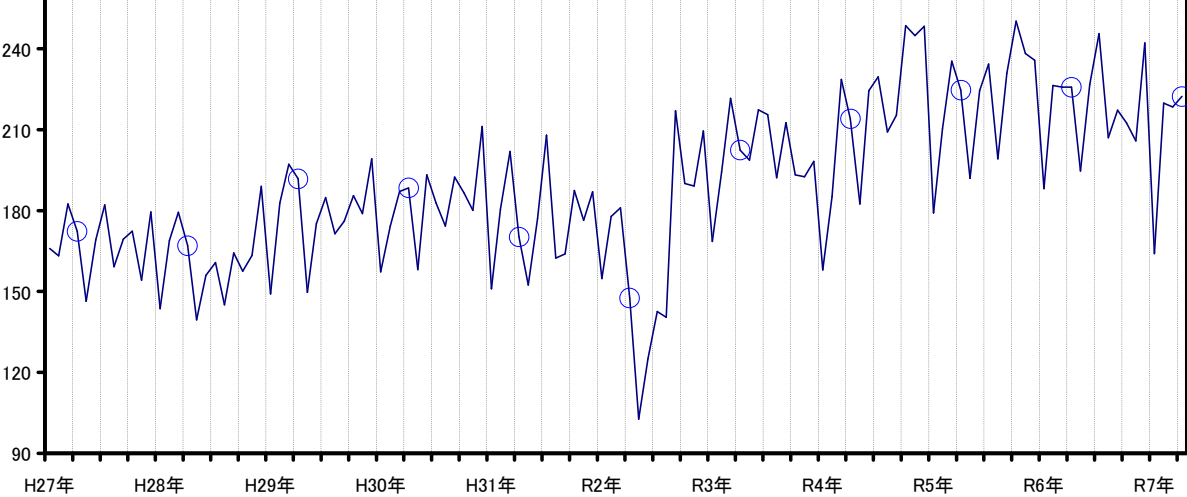
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

O印は4月度



6 輸入

4 月 = 120,803百万円

* 前年同月比： 0.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は120,803百万円で、前年同月比 0.5%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。
 主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 8.0%増）が2か月ぶり、原動機（同 15.9%増）が3か月ぶり、魚介類及び同調製品（同 30.6%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品（同 27.0%減）が5か月ぶり、木材（同 14.9%減）、自動車の部分品（同 7.1%減）がいずれも3か月連続で前年実績を下回った。
 地域別では、アジアから（同 0.7%減）が2か月ぶり、米国から（同 38.5%減）が4か月連続、EUから（同 6.5%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
輸入総額（百万円）	115,964	113,396	104,878	120,797	140,016	100,909	117,129	120,803
前年同月比（%）	1.7	▲ 3.1	▲ 14.6	6.4	▲ 5.4	▲ 8.9	13.8	▲ 0.5

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
魚介類及び同調製品	▲ 21.1	25.6	35.2	▲ 18.1	30.7	▲ 3.3	1.1	30.6
木材	39.4	▲ 12.3	▲ 28.8	▲ 28.7	8.0	▲ 22.4	▲ 29.1	▲ 14.9
パルプ	16.5	39.7	20.0	56.7	55.7	30.3	▲ 1.3	8.0
紙類及び同製品	23.3	13.7	▲ 4.3	32.3	0.6	19.9	27.4	▲ 27.0
原動機	3.2	35.6	▲ 2.0	▲ 32.1	7.6	▲ 40.3	▲ 19.8	15.9
自動車の部分品	▲ 17.9	▲ 21.4	▲ 22.3	▲ 12.8	10.9	▲ 22.7	▲ 17.1	▲ 7.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

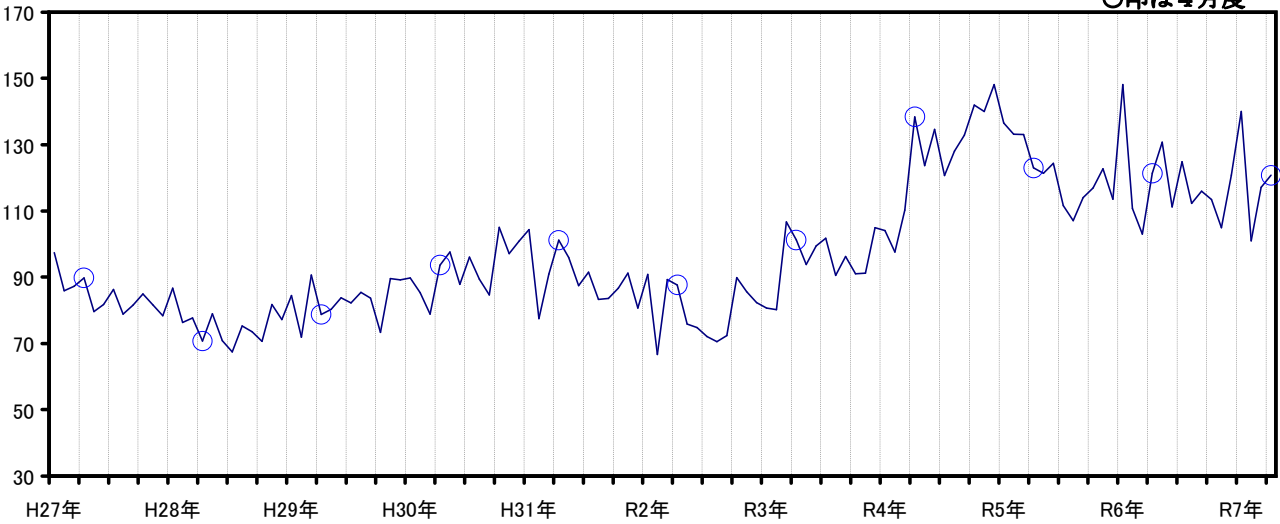
	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
アジア	13.8	▲ 1.8	▲ 20.3	▲ 0.7	9.3	▲ 12.3	26.5	▲ 0.7
米国	26.4	▲ 30.4	▲ 38.2	5.0	▲ 75.5	▲ 33.2	▲ 16.7	▲ 38.5
EU	71.7	▲ 9.9	20.9	15.0	164.0	▲ 3.8	▲ 17.7	▲ 6.5

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は4月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

4 月 = 92.9

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.4%増

*前年同月比(原指数) : 3.5%減

<概況>

4月の鉱工業生産指数(総合)は92.9(季節調整済指数)で、前月比は0.4%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は3.5%減と、3か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比 30.7%増)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 1.5%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、食料品・たばこ(同 15.6%減)が2か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械(同 23.5%減)が7か月連続、輸送機械(同 6.4%減)が3か月連続、化学(同 11.0%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
指 数	95.1	96.4	96.1	92.9	97.2	97.3	92.5	92.9
前 月 比 (%)	▲ 0.7	1.4	▲ 0.3	▲ 3.3	4.6	0.1	▲ 4.9	0.4
前 年 同 月 比 (%)	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 3.6	▲ 3.9	4.2	▲ 5.1	▲ 1.9	▲ 3.5
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 3.2	0.8	▲ 3.3	▲ 2.2	2.2	0.1	1.0	0.5

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.1	▲ 4.7	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 0.9	▲ 31.3	▲ 14.6	▲ 23.5
電 気 機 械 工 業	18.8	10.6	5.7	11.6	26.4	17.0	34.1	30.7
輸 送 機 械 工 業	▲ 15.1	▲ 9.5	▲ 12.7	▲ 13.7	0.0	▲ 6.2	▲ 16.6	▲ 6.4
化 学 工 業	3.2	▲ 9.6	14.2	9.4	▲ 8.4	▲ 7.7	▲ 2.6	▲ 11.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.1	2.7	▲ 0.2	▲ 3.8	▲ 2.1	▲ 3.5	2.5	1.5
食料品・たばこ工業	▲ 4.3	▲ 1.1	1.2	▲ 6.5	4.7	▲ 2.9	2.2	▲ 15.6

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

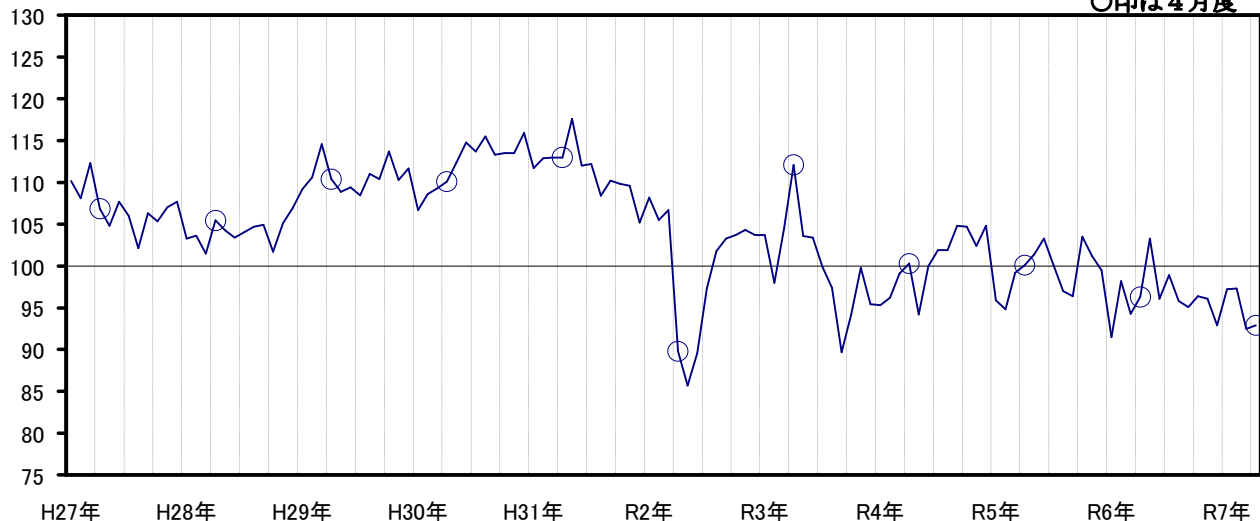
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計調査課

○印は4月度



(2) 鋳工業在庫指数

4 月 = 103.5

(令和 2 年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 2.1%減
* 前年同月比(原指数) : 2.5%減

<概 況>

4 月の鋳工業在庫指数（総合）は103.5（季節調整済指数）で、前月比は2.1%減と、4 か月ぶりに減少した。また、前年同月比（原指数）は2.5%減と、6 か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面（景気後退期）」に該当する。

業種別にみると、電気機械（前年同月比 0.1%増）、食料品・たばこ（同 3.0%増）が2 か月連続、化学（同 1.6%増）が6 か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 7.7%増）が11か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械（同 13.3%減）が3か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械（同 9.7%減）が6 か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
指 数	102.7	104.4	105.2	98.8	99.8	102.7	105.7	103.5
前 月 比 (%)	▲ 4.6	1.7	0.8	▲ 6.1	1.0	2.9	2.9	▲ 2.1
前 年 同 月 比 (%)	▲ 1.5	0.4	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 2.7	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 2.5
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 1.9	0.6	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 1.1

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数 <資料> 県統計調査課、経済産業省

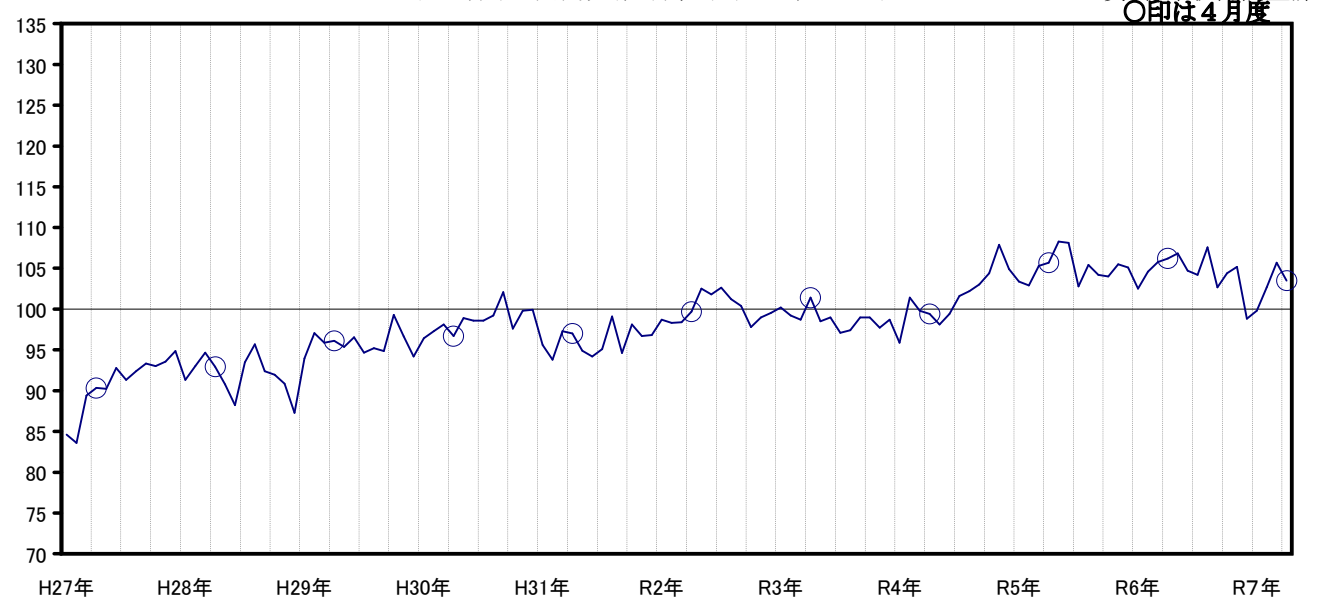
<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移> (単位: %)

	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
はん用・生産用・業務用機械工業	5.6	1.2	▲ 0.3	▲ 7.6	▲ 8.4	▲ 12.3	▲ 8.5	▲ 9.7
電 気 機 械 工 業	▲ 8.9	▲ 7.1	▲ 10.7	▲ 10.8	▲ 7.6	▲ 6.5	3.2	0.1
輸 送 機 械 工 業	▲ 18.9	▲ 3.0	▲ 4.8	▲ 29.1	▲ 10.6	7.8	0.5	▲ 13.3
化 学 工 業	▲ 3.1	▲ 0.6	6.4	4.7	4.5	0.7	2.5	1.6
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	7.1	6.2	6.3	4.5	2.0	0.8	5.4	7.7
食 料 品 ・ た ば こ 工 業	13.1	10.1	6.5	8.5	5.1	▲ 0.8	0.8	3.0

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数 <資料> 県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和 2 年=100) <資料> 県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

4 月 = 1.10倍

* 前月比（季節調整値）： 0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

4月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.10倍となり、前月を0.01ポイント上回った。51か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.16ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 4.6%増）は5か月ぶりに前年実績を上回った。

産業別にみると、運輸業・郵便業（前年同月比 20.3%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同 2.5%増）が3か月ぶり、卸売業・小売業（同 55.9%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、医療・福祉（同 0.2%減）が2か月ぶり、建設業（同 3.6%減）、製造業（同 7.0%減）がいずれも6か月連続、情報通信業（同 37.8%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
県（受理地別）	1.12	1.11	1.09	1.08	1.10	1.09	1.09	1.10
（参考）県（就業地別）	1.26	1.26	1.24	1.22	1.25	1.24	1.24	1.23
全 国	1.25	1.25	1.25	1.25	1.26	1.24	1.26	1.26

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
建 設 業	▲ 14.4	13.7	▲ 9.5	▲ 12.8	▲ 3.5	▲ 5.0	▲ 6.0	▲ 3.6
製 造 業	▲ 18.3	12.7	▲ 10.1	▲ 14.2	▲ 4.2	▲ 0.6	▲ 9.5	▲ 7.0
情 報 通 信 業	15.0	13.7	0.6	▲ 26.6	26.0	▲ 13.4	▲ 20.7	▲ 37.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	12.2	7.7	▲ 13.5	▲ 4.9	21.9	▲ 19.7	▲ 6.0	20.3
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 42.6	▲ 27.9	45.5	▲ 41.8	▲ 31.8	34.0	▲ 16.5	55.9
医 療 ・ 福 祉	3.9	▲ 5.1	▲ 3.9	▲ 4.7	3.8	▲ 2.3	0.1	▲ 0.2
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 14.9	3.3	▲ 9.9	▲ 13.0	4.7	▲ 6.5	▲ 10.2	2.5
合 計	▲ 12.5	▲ 0.5	0.2	▲ 13.6	▲ 4.4	▲ 1.6	▲ 7.8	4.6

（注）学卒、パートタイムを除く

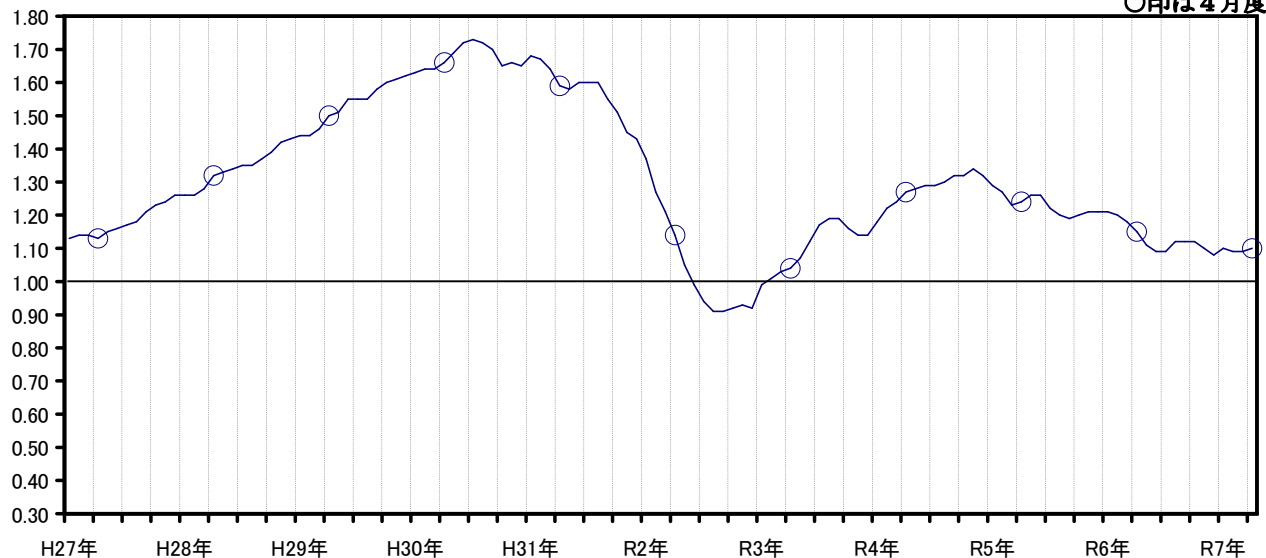
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省

○印は4月度



(2) 雇用保険受給者実人員

4 月 = 11,217人

*前 月 比: 0.0%

*前年同月比: 0.2%増

<概 況>

4月の雇用保険受給者実人員は11,217人で、前月と同水準だった。また、前年同月比は0.2%増と25か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率（全国）は2.5%と前月と同水準だった。

静岡県（令和7年1～3月）の完全失業率は2.3%で、前期（令和6年10～12月）から0.3ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
実 人 員 (人)	13,188	13,146	12,297	12,282	12,029	11,522	11,216	11,217
前 月 比 (%)	▲ 2.9	▲ 0.3	▲ 6.5	▲ 0.1	▲ 2.1	▲ 4.2	▲ 2.7	0.0
前 年 同 月 比 (%)	3.8	2.6	2.4	5.9	4.9	3.2	5.9	0.2
(参考) 全国前年同月比 (%)	1.3	▲ 0.5	▲ 2.7	2.0	0.8	▲ 0.7	0.9	6.6

<資料>厚生労働省

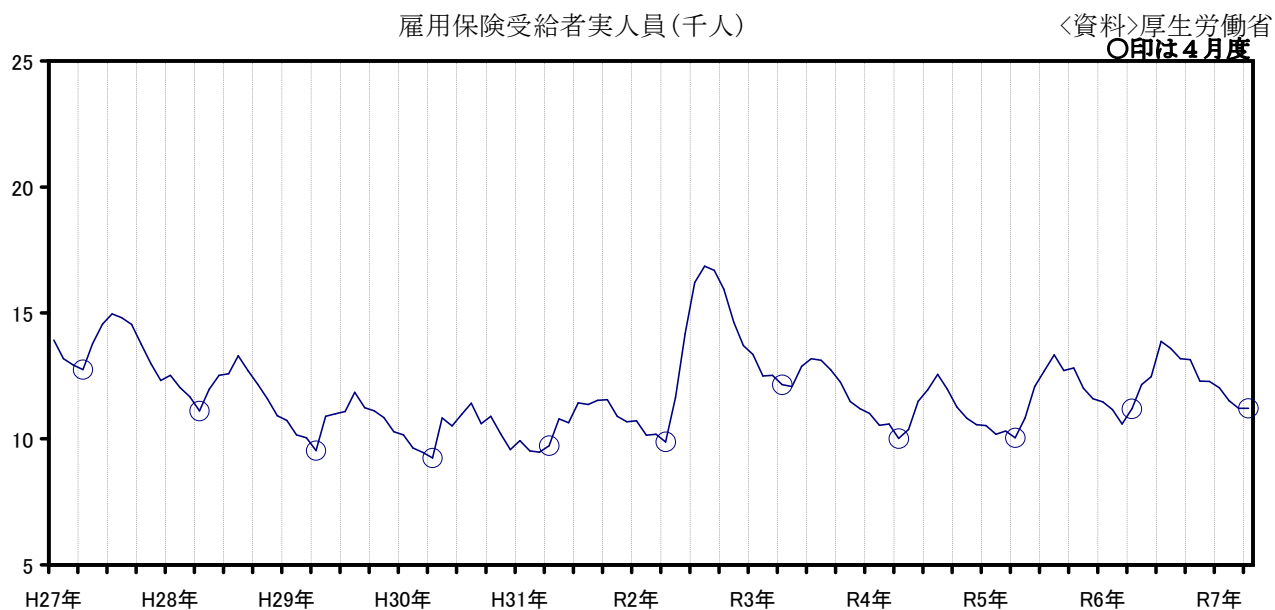
<参考 完全失業率（全国）の推移>

	R 6年9月	1 0月	1 1月	1 2月	R 7年1月	2月	3月	4月
完全失業率(全国) (%)	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.5	2.5

(注) 季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>



(3) 所定外労働時間指数

3 月 = 117.3

* 前月比(季節調整済指数): 2.0%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 0.0%

<概況>

3月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は117.3(季節調整済指数)で、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は0.0%と、前年と同水準だった。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比4.3%増)、運輸業・郵便業(同16.6%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったものの、医療・福祉(同11.8%減)が3か月ぶり、建設業(同2.2%減)が4か月連続、製造業(同4.9%減)、卸売業・小売業(同4.5%減)がいずれも7か月連続、その他のサービス業(同7.5%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R6年8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月
指数	120.6	125.9	119.1	129.3	120.1	113.8	119.7	117.3
前月比(%)	▲3.1	4.4	▲5.4	8.6	▲7.1	▲5.2	5.2	▲2.0
前年同月比(%)	4.4	4.8	▲1.5	9.5	3.2	▲9.2	▲0.8	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.7	▲4.1	▲2.3	▲1.7	▲3.3	▲0.9	▲2.5	▲3.3

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R6年8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月
建設業	▲17.5	31.4	▲11.7	11.7	▲2.7	▲36.7	▲39.3	▲2.2
製造業	2.1	▲1.3	▲3.1	▲2.5	▲2.5	▲9.1	▲6.7	▲4.9
情報通信業	▲26.2	▲60.8	▲31.7	▲39.4	▲37.1	▲8.0	19.9	4.3
運輸業・郵便業	▲15.6	▲16.5	▲18.5	▲14.9	▲20.3	▲0.5	23.7	16.6
卸売業・小売業	0.0	▲6.0	▲8.0	▲14.7	▲22.0	▲2.7	▲9.5	▲4.5
医療・福祉	▲14.8	▲20.4	▲15.5	▲14.5	▲9.0	5.1	4.9	▲11.8
その他のサービス業	32.7	18.5	26.8	58.3	40.3	▲19.9	▲1.3	▲7.5
調査産業計	4.4	4.8	▲1.5	9.5	3.2	▲9.2	▲0.8	0.0

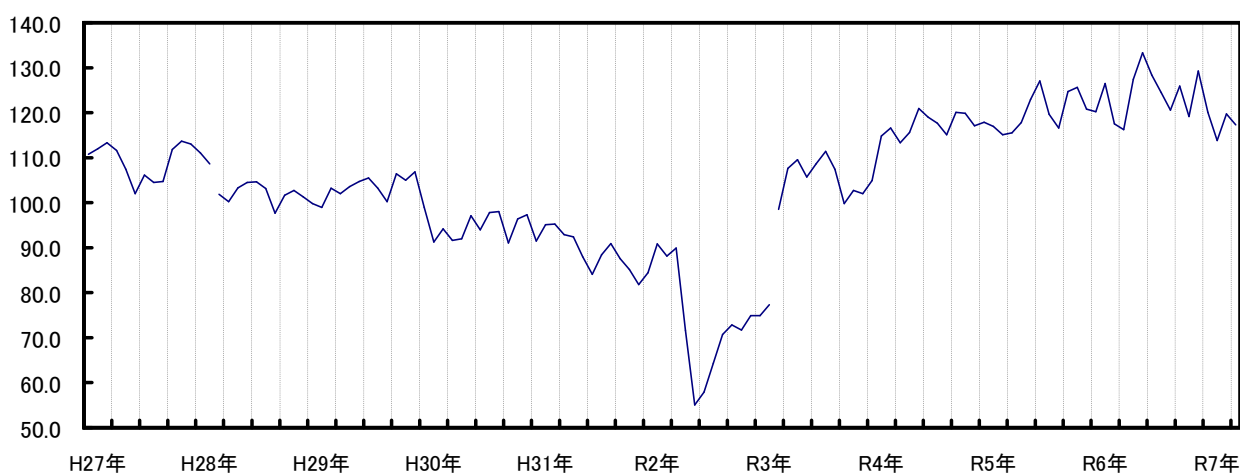
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

5 月 = 126.3

*前 月 比: 0.2%下落

*前年同月比: 3.2%上昇

<概 況>

5月の国内企業物価指数は126.3となり、前月比は0.2%の下降となった。また、前年同月比は3.2%の上昇となった。

	R 6 年10月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1月	2 月	3 月	4 月	5 月
国内企業物価指数	124.0	124.4	125.0	125.3	125.7	126.1	126.5	126.3
前 月 比 (%)	0.4	0.3	0.5	0.2	0.3	0.3	0.3	▲ 0.2
前年同月比 (%)	3.7	3.8	4.0	4.2	4.3	4.3	4.1	3.2

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

4 月 = 143,374億円

*前 月 比: 0.4%減

*前年同月比: 1.0%増

<概 況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,374億円で、前月比とは0.4%の減少となった。また、前年同月比は1.0%の増加となった。

	R 6 年9月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1月	2 月	3 月	4 月
貸出残高(億円)	143,445	142,622	143,425	144,158	143,689	143,648	144,009	143,374
前 月 比 (%)	0.3	▲ 0.6	0.6	0.5	▲ 0.3	0.0	0.3	▲ 0.4
前年同月比 (%)	0.4	0.4	0.8	0.5	1.0	0.9	0.2	1.0

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

3 月 = 1.435%

*前 月 差: 0.037ポイント増

*前年同月差: 0.179ポイント増

<概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.435%で、前月から0.037ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.179ポイントのプラスとなった。

	R 6 年8月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年1月	2 月	3 月
貸出約定金利(%)	1.279	1.303	1.321	1.324	1.367	1.384	1.398	1.435
前月差(ポイント)	0.011	0.024	0.018	0.003	0.043	0.017	0.014	0.037
前年同月差(ポイント)	0.010	0.037	0.056	0.064	0.113	0.130	0.145	0.179

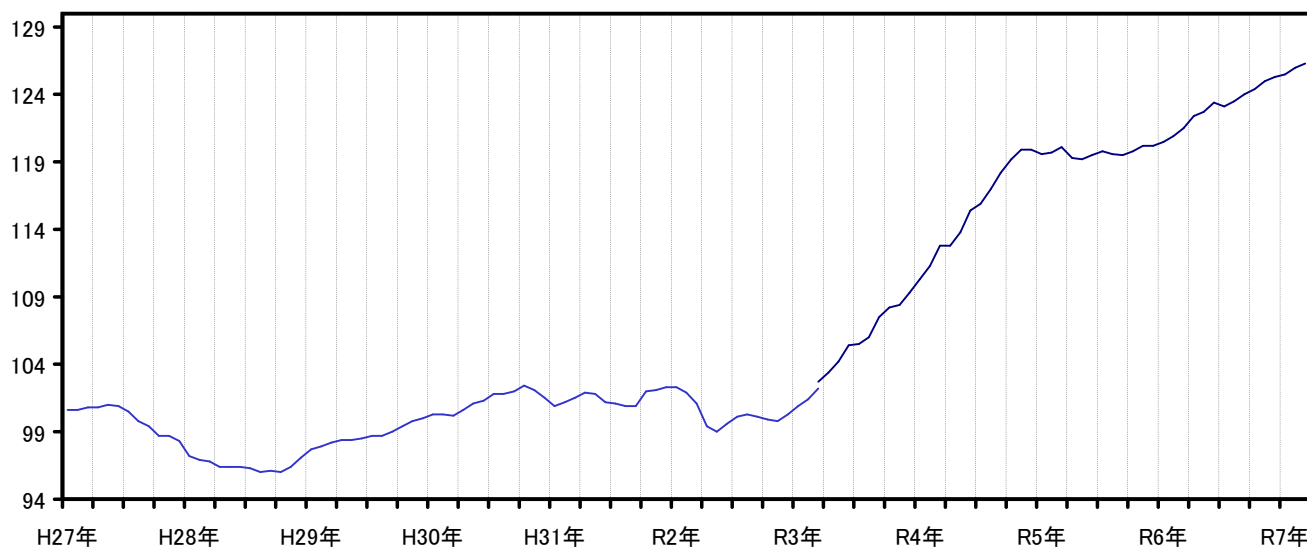
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

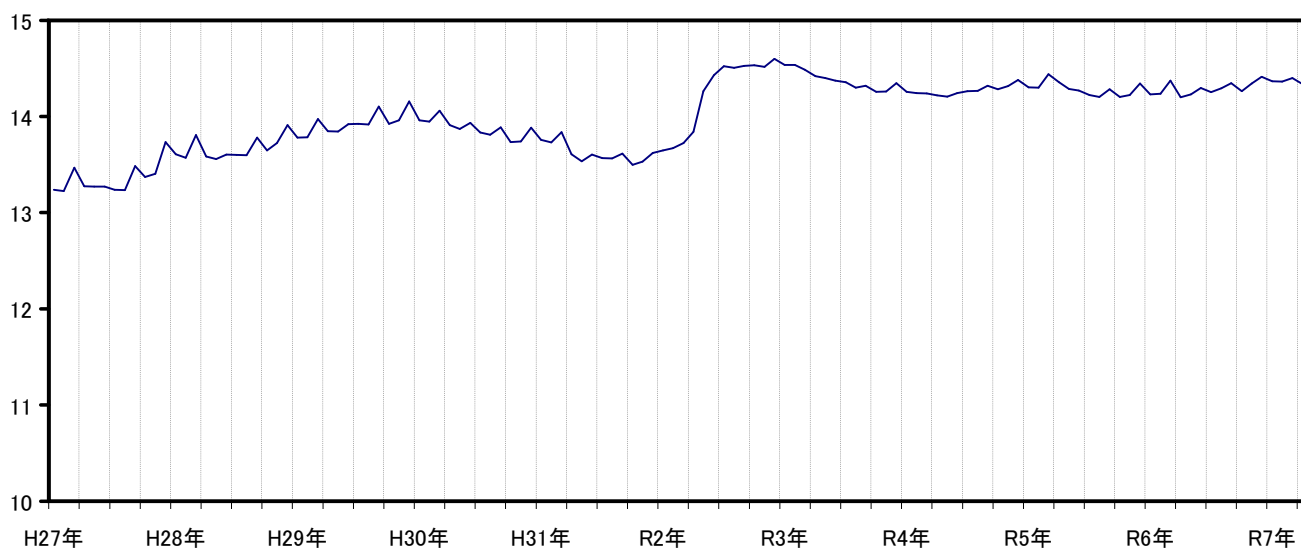
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



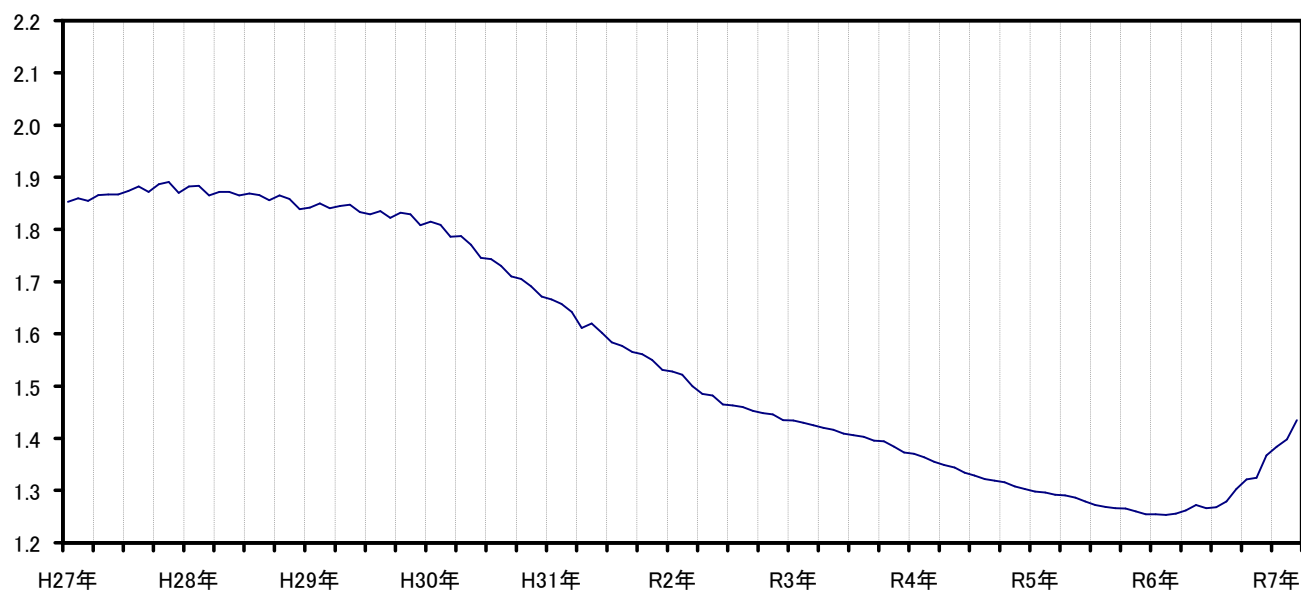
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

4 月 = 28,272百万円

*前年同月比： 73.9%増

<概 況>

4月の保証承諾は、金額は28,272百万円（前年同月比 73.9%増）、件数は1,810件（同 32.2%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R 6 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
保証金額（百万円）	14,144	12,710	14,589	17,220	11,797	12,702	28,519	28,272
前年同月比（%）	▲ 40.5	▲ 42.5	▲ 43.0	▲ 45.8	▲ 44.5	▲ 47.7	▲ 27.2	73.9
保証件数（件）	1,481	1,296	1,373	1,444	1,190	1,270	2,183	1,810
前年同月比（%）	▲ 20.4	▲ 22.4	▲ 22.1	▲ 35.5	▲ 22.5	▲ 29.2	▲ 14.8	32.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

5 月 = 144.75円/ドル

*前 月 差： 0.36円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 11.38円高

<概 況>

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は144.75円で、前月と比べて 0.36円の円安となり、4か月ぶりに円安となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 6 年 10 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平均相場（円）	149.63	153.72	153.72	156.49	151.96	149.18	144.39	144.75
前 月 差（円）	6.25	4.09	0.00	2.77	▲ 4.53	▲ 2.78	▲ 4.79	0.36
前年同月差（円）	0.10	3.89	9.65	9.92	2.54	▲ 0.45	▲ 9.04	▲ 11.38

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

4 月 = 14件

*前年同月比： 36.4%減

<概 況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は14件（前年同月比 36.4%減）と前年実績を下回り、負債総額は 1,595百万円（同 32.4%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が13件と全体の92.9%を占め、24か月連続で50%以上となっている。

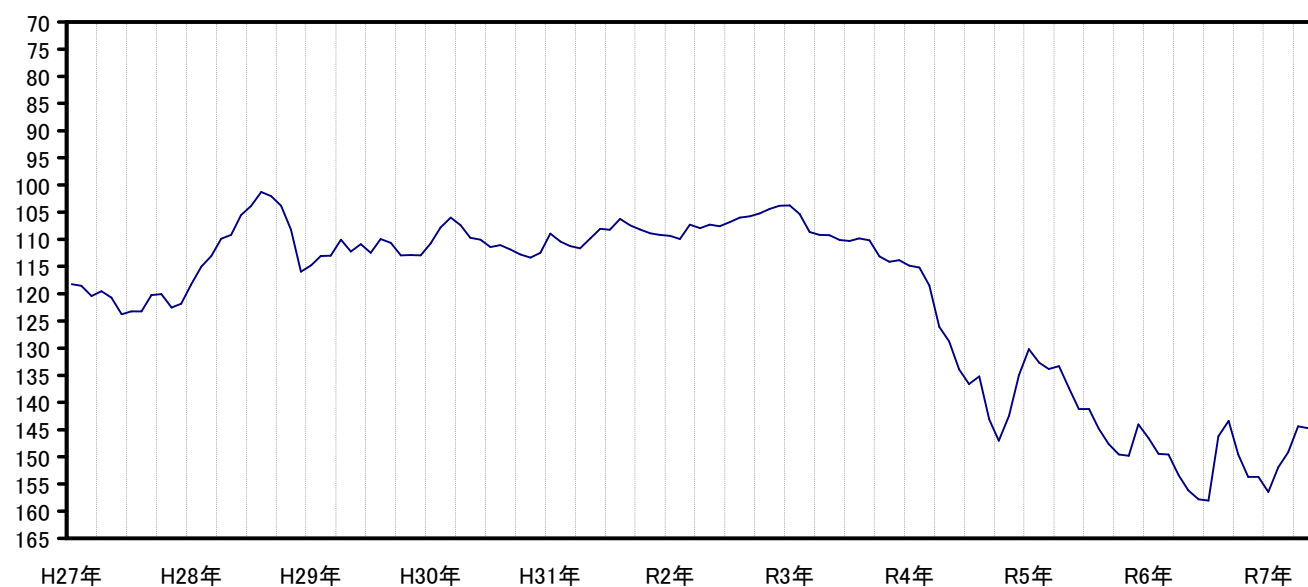
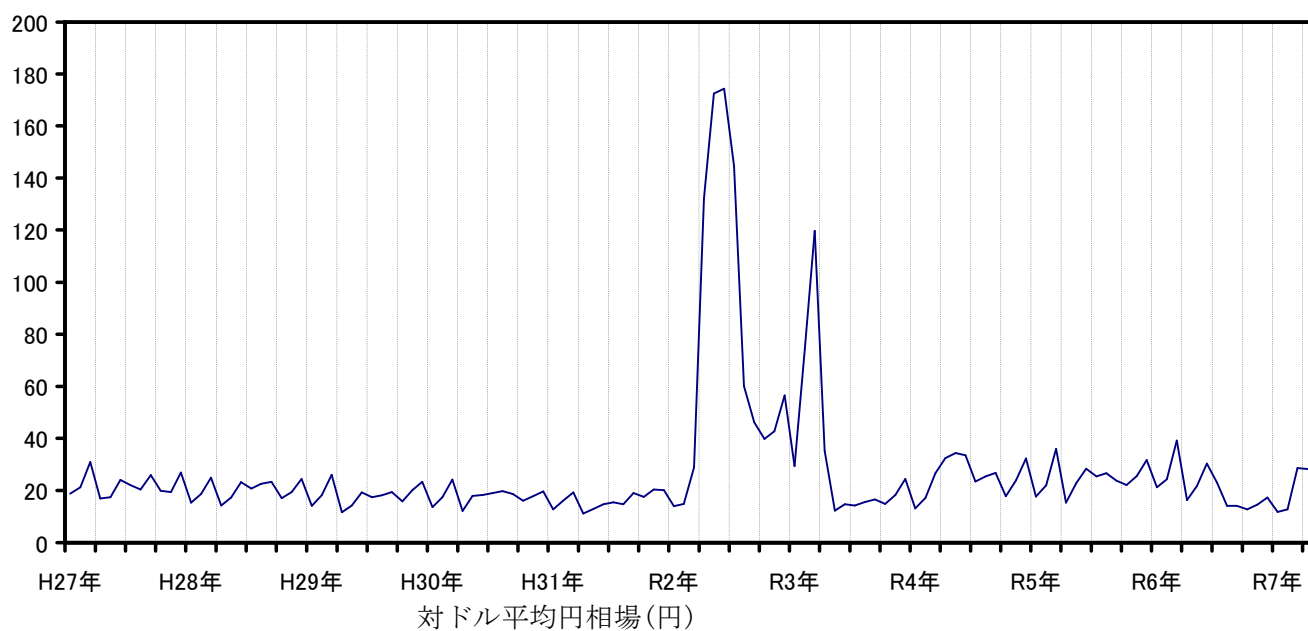
	R 6 年 9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	R 7 年 1 月	2 月	3 月	4 月
倒産件数（件）	21	29	13	17	19	18	26	14
前年同月比（%）	▲ 32.2	70.5	▲ 31.5	▲ 10.5	26.6	100.0	44.4	▲ 36.4
うち不況型倒産件数(件)	21	22	12	15	15	17	23	13
負債総額（百万円）	2,843	4,255	1,354	1,530	2,011	2,450	4,227	1,595
前年同月比（%）	70.6	▲ 35.4	▲ 53.0	▲ 25.8	64.9	147.4	▲ 8.8	▲ 32.4

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

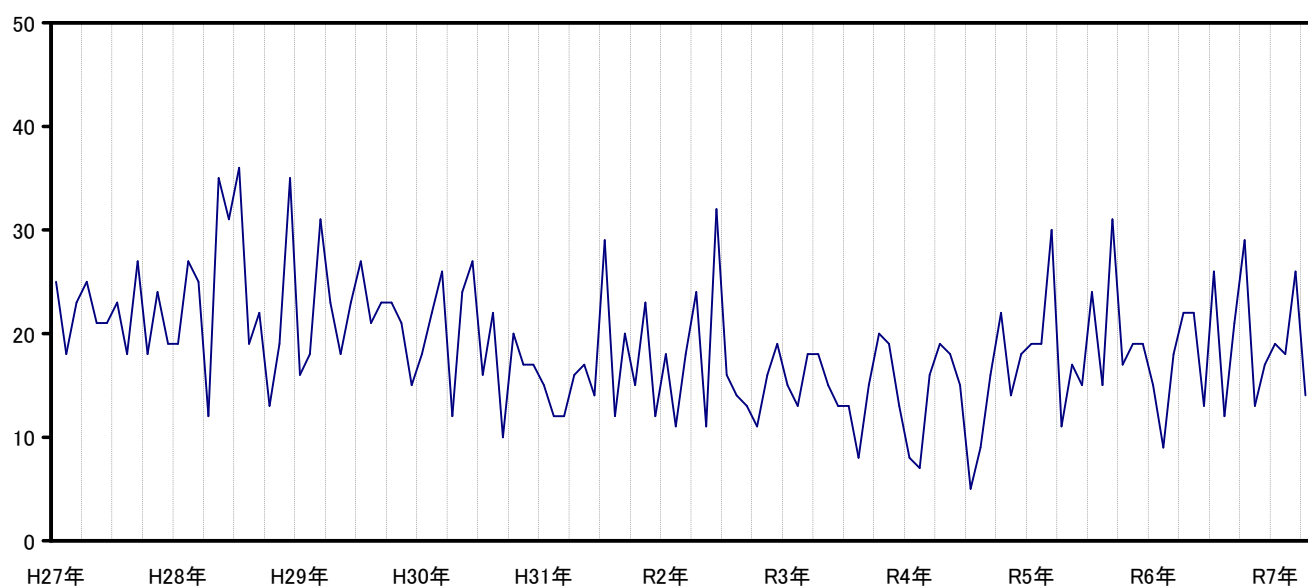
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和7年4月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	3月の国内二輪車生産台数は、60,234台（前年同月比2.6%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、11,533台（同28.9%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、1,810台（同46.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、1,604台（同61.5%減）で5か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、45,287台（同14.8%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。 出荷台数は、国内向けは、34,228台（同12.4%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、48,025台（同5.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自 動 車	3月の自動車国内生産台数は、724,336台（前年同月比 2.0%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。輸出は359,797台（同 3.2%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。 国内生産は、トラック、乗用車がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	4月の冷蔵庫の国内出荷額は314億円（前年同月比6.1%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数も278千台（同13.8%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。 4月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは795千台（同15.2%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は61千台（同2.7%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。 4月の携帯電話の国内出荷台数は、218千台（同24.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、168千台（同 21.6%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 77.0%であった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J
生産用機械	4月の工作機械の受注総額は、1,302億1400万円（前年同月比7.7%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。 内訳をみると、外需は958億3,500万円（同 13.4%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが482億3,800万円（同15.0%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。内需は343億7,900万円（同5.5%減）で、8か月ぶりに前年実績を下回った。 全体的に受注量が減少しているが操業を維持する観点から、採算が厳しくとも受注せざる得ない状況。 ＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会

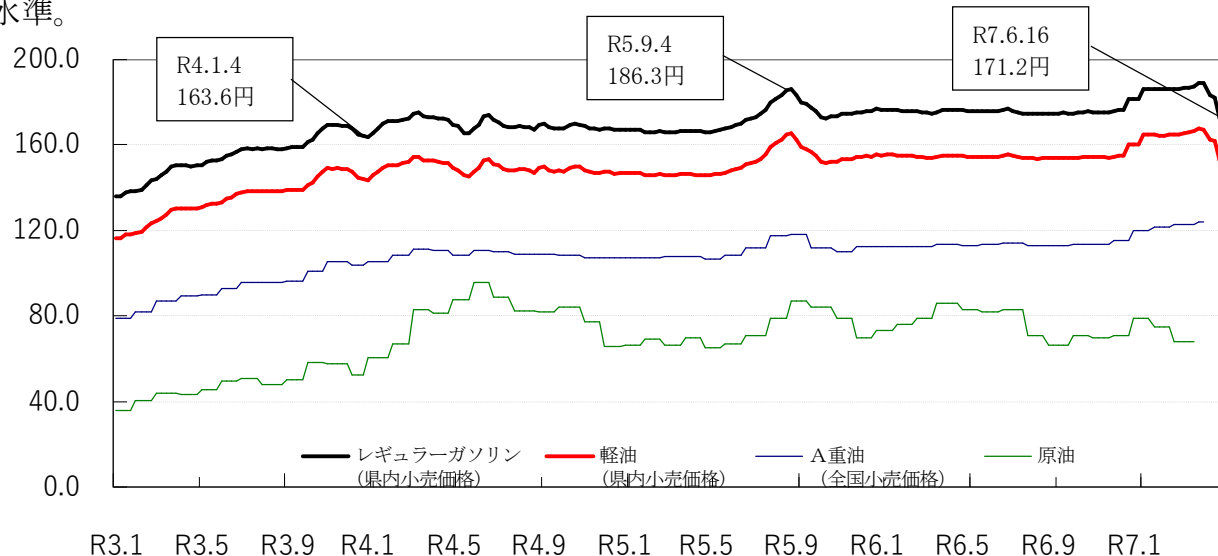
業 種	産 業 動 向
楽 器	4月の県内楽器メーカーの販売金額は、57億3,008万円（前年同月比 4.3%増）で、8か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが33億1,997万円（同 1.9%減）で、8か月連続で前年実績を下回ったが、国内向けが24億1,010万円（同14.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 ピアノ生産台数は2,134台（同16.3%減）で、22か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,175台（同 20.2%減）、グランドピアノが959台（同11.0%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,533台（同 2.7%減）で、22か月連続で前年実績を下回り、国内向けが742台（同 9.2%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	4月の紙・板紙の国内出荷高は、1,712千トン（前年同月比 0.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は767千トン（同 1.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。板紙は946千トン（同0.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、386千トン（同 0.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、168千トン（1.6%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶 詰・飲 料	4月の県内生産量は、食缶類が国内向け965千箱（前年同月比3.5%増）で2か月連続で前年実績を上回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）は713千箱（同2.7%増）で2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は466千箱（同2.6%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。 農畜産缶（国内向け）は252千箱（同5.7%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。 飲料缶類は、国内向けが6,517千箱（同3.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡缶詰協会
織 維	4月の広幅織物の県内生産は、771千㎡（前年同月比 14.8%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、719千㎡（同 16.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、52千㎡（同14.0%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 小幅織物の県内生産は、17千㎡（同 3.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家 具	4月の全国百貨店での家具販売額は、37億700万円（前年同月比9.8%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、646億5,244万円（同0.5%減）と4ヶ月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業 種	産 業 動 向
小 売 業	4月の県内百貨店・スーパーの販売額は、37,850百万円（既存店前年同月比4.9%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品及び家庭用品で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品、食堂・喫茶の売上げが前年同月と比較して増加した。 西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は増加したが、売上げは同程度であった。雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった一方で、衣料品及び身の回り品の売上げが不調だった。 中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数が減少したが、売上げは同程度であった。ゴールデンウィークが飛び石連休だったことで、行楽準備目的の来客数が少なかった。 東部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。魚離れの影響もあり鮮魚は売上げが不調だったが、物価高騰の影響により、青果、精肉及び弁当・惣菜は、売上げが好調だった。 ＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課
観 光	令和7年4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約53万人で、前年同月比16.1%減となった。 主な要因は、浜名湖花博2024の開催により関連施設の入込客数が増加した前年に及ばなかったことによる。 主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約58万台となり、前年同月比11.9%減となった。 ＜資料＞静岡県観光政策課

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー171.2円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 6年8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	19,633	23,502	27,598	29,175	20,007	22,378	24,615	25,562	22,957
前年同月比(%)	5.0	25.7	▲ 2.4	0.8	▲ 19.5	▲ 1.6	0.0	2.4	▲ 9.2
KD輸出額(百万円)	717	604	733	672	1,763	2,311	2,376	2,342	2,276
前年同月比(%)	▲ 17.9	▲ 30.9	▲ 44.5	▲ 53.4	3.4	100.4	72.6	102.1	106.4

<楽 器>

	R 6年8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	2,621	2,960	3,404	3,091	2,851	2,724	2,749	2,895	3,736
前年同月比(%)	▲ 10.2	▲ 15.1	▲ 5.8	▲ 11.9	▲ 23.3	▲ 6.5	▲ 22.5	▲ 19.0	7.7

<缶 詰>

	R 6年7月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千ケース)	869	965	1,056	1,031	968	915	876	895	965
前年同月比(%)	▲ 8.9	0.3	12.4	0.8	4.0	7.1	▲ 3.7	1.7	3.5
うち水産缶詰(%)	▲ 0.7	8.0	15.9	4.5	6.8	12.2	▲ 6.0	5.4	2.7
農畜産缶詰(%)	▲ 27.0	▲ 17.3	3.9	▲ 8.2	▲ 2.8	▲ 6.1	3.0	▲ 8.6	5.7
飲料缶生産高(千ケース)	7,061	6,447	6,801	6,839	5,863	4,736	5,744	6,776	6,517
前年同月比(%)	▲ 0.4	▲ 9.9	2.8	▲ 2.7	▲ 7.8	▲ 10.5	▲ 6.3	▲ 6.3	▲ 3.4

<織 維>

	R 6年8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	616	815	892	975	895	881	840	860	771
前年同月比(%)	▲ 9.1	1.8	2.9	▲ 7.0	▲ 10.4	▲ 10.3	▲ 9.9	▲ 7.3	▲ 14.8
小幅織物(千㎡)	16	17	16	17	20	15	15	16	17
前年同月比(%)	7.4	▲ 5.7	▲ 9.9	▲ 6.8	6.6	▲ 2.7	▲ 4.7	▲ 11.0	▲ 3.5

<観 光>

	R 6年8月	9月	10月	11月	12月	R 7年1月	2月	3月	4月
延べ宿泊者数 (千人泊)	2,538	1,752	1,816	1,936	1,923	1,636	1,638	2,019	1,724
前年同月比(%)	▲ 3.0	▲ 2.1	4.2	2.0	3.4	▲ 1.4	▲ 8.4	▲ 3.5	0.2
観光施設(10施設)入込 (千人)	389	312	415	401	322	308	298	460	532
前年同月比(%)	▲ 11.4	▲ 17.0	▲ 11.8	▲ 12.5	▲ 3.6	25.6	28.5	27.5	▲ 16.1
有料道路(4路線)通行 量 (千台)	687	594	611	628	630	566	546	658	582
前年同月比(%)	▲ 1.0	1.7	1.0	1.1	2.7	0.5	▲ 5.0	1.9	▲ 11.9

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和7年6月号 通巻590号

発 行 静岡県経済産業部
令和7年6月

編 集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>